

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0011

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0094
				2018/6/29
調整後保管日時		2018年7月26日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年7月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-67
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年7月26日		(木)	8:00	承認	審査	作成	
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事							
	発生場所	H6タンクエリア				2018/6/29	2018/6/29	2018/6/29	
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL			
	元請会社			担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/6/19	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14	
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	金属ガラ	B	D	A	8 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無
	2					m ²			
	3					m ²			
4					m ²				
5					m ²				
メモ	大型2台								

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/7/26 8:20	4 m ²			1
	1	2	金属ガラ⑦	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/7/26 8:50	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013201 - 0001

作業主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年7月23日		(月)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	3号機原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事								
	発生場所	BCヤード			2018/7/9	2018/7/9	2018/7/9			
	作業主管G	3号機建築グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/7/2	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-074		
メ モ	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③						
	1	紙・ウエス類	A 01	D	B	0.5 m ²	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D	B	0.5 m ²	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無	
	3	木材類	A 03	D	B	1 m ²	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無	
	4	可燃その他	A 04	D	B	0.5 m ²	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無	
5	難燃シート類	C 02	D	B	1 m ²	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無		
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0169
				2018/7/9
調整後保管日時		2018年7月23日		8:00
【保管時の指示事項等】				
自社持込希望				

線量測定内容			
測定日	2018年7月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類 (→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/7/23 8:30	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013201 - 0001

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年7月23日		(月)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	3号機原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事								
	発生場所	BCヤード						2018/7/9	2018/7/9	2018/7/9
	作業主管G	3号機建築グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/7/2	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-074		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属がら	B 01	D B	0.3 m ²	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無		
	2	ケーブル類	B 08	D B	0.2 m ²	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無		
	3	不燃その他	B 10	D B	1 m ²	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無		
	4				m ²					
	5				m ²					
メ モ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0170
				2018/7/9
調整後保管日時		2018年7月23日		8:00
【保管時の指示事項等】				
自社持込希望				

線量測定内容				
測定日	2018年7月23日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-012	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属がら ⑩	5 μ Sv/h	20 μ Sv/h		エリアC	2018/7/23 8:05	1 m ²			1
	2	1	ケーブル類 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/7/23 8:05	1 m ²			1
	3	1	不燃その他 ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/7/23 8:05	1 m ²			1
									m ²			
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013201 - 0001

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年7月25日		(水)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	3号機原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事									
	発生場所	BCヤード									
	作業主管G	3号機建築グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/7/2	測定者		測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-074		
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	金属がら	B	01	D	B	0.3 m ²	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無	
	2	ケーブル類	B	08	D	B	0.2 m ²	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無	
	3	不燃その他	B	10	D	B	1 m ²	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無	
	4						m ²				
	5						m ²				
	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0172
				2018/7/9
調整後保管日時		2018年7月25日		8:00
【保管時の指示事項等】				
自社持込希望				

線量測定内容				
測定日	2018年7月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-082	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	3	1	不燃その他 ②	5 μSv/h	10 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/7/25 8:20	0.2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013201 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年7月27日	(金)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	3号機原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事								
	発生場所	BCヤード			2018/7/9	2018/7/9	2018/7/9			
	作業主管G	3号機建築グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/7/2	測定者		測定器名	ICW	管理番号 F1-ICW-074			
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
1	ケーブル類	B	08	D	B	0.5 m ²	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無	
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0173
				2018/7/9
調整後保管日時		2018年7月27日		8:00
【保管時の指示事項等】				
自社持込希望				

線量測定内容				
測定日	2018年7月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-082	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ケーブル類 ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/7/27 8:00	0.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13	—	14	—
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013201 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年7月27日		(金)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	3号機原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事								
	発生場所	BCヤード						2018/7/9	2018/7/9	
	作業主管G	3号機建築グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/7/2	測定者		測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-074	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	0.5 m ²	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無
	2	難燃その他	C	04	D	B	3 m ²	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0174
				2018/7/9
調整後保管日時		2018年7月27日		8:00
【保管時の指示事項等】				
自社持込希望				

線量測定内容				
測定日	2018年7月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2		ICWBL	F1-ICWBL-127	
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類 (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/7/27 8:00	2 m ²			1
	2	1	難燃その他 (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/7/27 8:00	3 m ²			2
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
				C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05
		D	伐 採 木			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
				②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0016								
作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年7月23日		(月)	11:00		承認	審査	作成	固体廃棄物管理G記入欄		受付						
	作業件名	G6エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								受付番号								
	発生場所	G6エリア						2018/7/6	2018/7/6	2018/7/6	廃2018	07	0180					
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL				2018/7/9							
	元請会社					担当者	TEL				調整後保管日時 2018年7月23日 11:00							
	線量測定年月日	2018/7/5	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	T-ICWBL-04		【保管時の指示事項等】						
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率							
	1	金属ゴミ			B 01	D B	3 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無								
	2	廃棄機械			B 03	D B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無								
	3	ケーブル類			B 08	D B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無								
4						m ²												
5						m ²												
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																	
保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.		
	1	1	金属ゴミ ⑦		5 μSv/h		5 μSv/h				エリアC	2018/7/23 10:30	0.5 m ²			1		
	3	1	ケーブル類 ⑩		5 μSv/h		5 μSv/h				エリアC	2018/7/23 10:30	0.2 m ²			1		
													m ²					
													m ²					
													m ²					
													m ²					
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																	
	メ モ																	
	※ カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類		02	プラスチック・ホリ・ビニール類		03	木材類		04	可燃物その他		05	—
06					—		07	—		08	—		09	—		10	—	
B			不燃物	01	金属ガラ		02	コンクリートガラ		03	機器類・制御盤類		04	土砂類		05	塩化ビニール類	
				06	保温材		07	石綿含有物		08	ケーブル類		09	アスファルトガラ		10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体		12	フランジタンク付属品		13	—		14	—		15	—	
C			難燃物	01	ゴム類		02	難燃シート類		03	ホース類		04	難燃物その他		05	—	
				01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—	
D			伐採木	01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—	
				01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—	
②			状 態		D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」								
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																		
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																		
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																		

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年7月27日	(金)	10:30	承認	審査	作成				
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】									
	発生場所	C,Dタンクエリア関係他			2018/7/9	2018/7/6	2018/7/6				
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/7/3	測定者	測定器名		ICWBL	管理番号				
							F1-ICWBL-4				
G	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	金属ガラ	B	01	D	B	5 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0182
				2018/7/9
調整後保管日時		2018年7月27日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年7月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-103	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑦	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/7/27 9:55	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年7月27日		(金)	9:30		承認	審査	作成				
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務											
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)						2018/7/9	2018/7/9	2018/7/9			
	作業主管G	総務グループ				監理員			TEL				
	元請会社					担当者			TEL				
	線量測定年月日	2018/7/9	測定者			測定器名	F1-ICW		管理番号	158			
	No.	保管物名				※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	不燃その他(乾電池)				B	10	D	A	2 m ²	4 μSv/h	4 μSv/h	無	
2	不燃その他(缶)				B	10	D	A	2 m ²	4 μSv/h	4 μSv/h	無	
3									m ²				
4									m ²				
5									m ²				
メモ	持ち込み 7月中に処理希望												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0187
				2018/7/9
調整後保管日時		2018年7月27日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年7月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-082	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃その他(乾電池) ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/7/27 9:45	1 m ²			1
	2	1	不燃その他(缶) ⑦	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/7/27 9:45	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年7月27日	(金)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2018/7/9	2018/7/9	2018/7/9			
	作業主管G	総務グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/7/9	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号 158			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	不燃その他(乾電池)	B	10	D	A	4 m ²	4 μSv/h	4 μSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
メ モ	持ち込み 7月中に処理希望									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0188
				2018/7/9
調整後保管日時		2018年7月27日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年7月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-012
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃その他(乾電池)⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/7/27 9:50	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持ち込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0023

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年7月23日		(月)	8:30	承認	審査	作成	
	作業件名	G6エリアタンクリプレイス関連工事							
	発生場所	G6、H6北、B、タンクエリア					2018/7/10	2018/7/10	2018/7/10
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/7/9	測定者		測定器名	ICW(BL)	管理番号	F1-ICWBL-5	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
1	保温材	B	06	D	B	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2						m ²			
3						m ²			
4						m ²			
5						m ²			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0214
				2018/7/11
調整後保管日時		2018年7月23日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年7月23日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-50	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/7/23 8:15	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015302 ~ 0021

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年7月23日		(月)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F 廃棄物減容・運搬業務委託								
	発生場所	GR-18(コンクリートポンプ車)					2018/7/10	2018/7/10	2018/7/10	
	作業主管G	使用済燃料プール冷却グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/7/10	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	FI-ICBL-73		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	不燃物			① ② ③	15 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	2					m ²				
	3					m ²				
4					m ²					
5					m ²					
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	07	—	0215	2018/7/11
調整後保管日時		2018年7月23日		10:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年7月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	FI-ICWBL-50
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアPI(屋外)	2018/7/23 9:50	12 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウイス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		E	その他	01	その他	02	その他	03	その他	04	その他	05	—
01	その他			02	その他	03	その他	04	その他	05	—		
F	その他	01	その他	02	その他	03	その他	04	その他	05	—		
		01	その他	02	その他	03	その他	04	その他	05	—		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015302 - 0021

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年7月23日		(月)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F 廃棄物減容・運搬業務委託								
	発生場所	GR-18(コンクリートポンプ車)					2018/7/10	2018/7/10	2018/7/10	
	作業主管G	使用済燃料プール冷却グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/7/10	測定者		測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICBL-73	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	不燃物	B	03	D	A	15 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	07	—	0216	2018/7/11
調整後保管日時		2018年7月23日		10:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年7月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-50
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2018/7/23 9:55	6 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015302 - 0021

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年7月24日		(火)	10:00		承認	審査	作成
	作業件名	1F 廃棄物減容・運搬業務委託							
	発生場所	GR-18(コンクリートポンプ車)							
	作業主管G	使用済燃料プール冷却グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2018/7/10	測定者			測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICBL-73
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
1	不燃物	B	03	D	A	15 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
2						m ²			
3						m ²			
4						m ²			
5						m ²			
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0219
				2018/7/11
調整後保管日時		2018年7月24日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年7月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-101	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/7/24 9:30	12 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
	②	C	難 燃 物	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		D	伐 採 木	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		状 態		D:乾燥, W:湿気有	③ 履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015302 - 0021

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年7月24日		(火)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	1F 廃棄物減容・運搬業務委託								
	発生場所	GR-18(コンクリートポンプ車)						2018/7/10	2018/7/10	
	作業主管G	使用済燃料プール冷却グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/7/10	測定者			測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICBL-73	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β-α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	不燃物	B	03	D	A	15 m ³	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
4						m ³				
5						m ³				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0220
				2018/7/11
調整後保管日時		2018年7月24日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年7月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-101
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/7/24 9:40	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015302 - 0021

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年7月25日		(水)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F 廃棄物減容・運搬業務委託								
	発生場所	GR-18(コンクリートポンプ車)					2018/7/10	2018/7/10	2018/7/10	
	作業主管G	使用済燃料プール冷却グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/7/10	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICBL-73		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	不燃物			① B 03 ② D ③ A	15 m ³	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	2					m ³				
	3					m ³				
4					m ³					
5					m ³					
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	07	—	0223
				2018/7/11
調整後保管日時		2018年7月25日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年7月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-58	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物 ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/7/25 9:35	10 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票															計上No.		6015302 - 0021		
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年7月25日				(水)	10:30				承認	審査	作成						
	作業件名	1F 廃棄物減容・運搬業務委託																	
	発生場所	GR-18(コンクリートポンプ車)										2018/7/10	2018/7/10	2018/7/10					
	作業主管G	使用済燃料プール冷却グループ				監理員					TEL								
	元請会社					担当者					TEL								
	線量測定年月日	2018/7/10		測定者			測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICBL-73								
	No.	保管物名				※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率							
	1	不燃物				B	03	D	A	15	m ²	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無			
	2										m ²								
	3										m ²								
4										m ²									
5										m ²									
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																			
保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.	
	1	1	不燃物②		5	μSv/h	5	μSv/h			エリアP1(屋外)		2018/7/25 9:40		5	m ²		1	
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																		
※ カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類		02	プラスチック・ポリ・ビニール類		03	木材類		04	可燃物その他		05	—		
				06	—		07	—		08	—		09	—		10	—		
		B	不 燃 物	01	金属ガラ		02	コンクリートガラ		03	機器類・制御盤類		04	土砂類		05	塩化ビニール類		
				06	保温材		07	石綿含有物		08	ケーブル類		09	アスファルトガラ		10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体		12	フランジタンク付属品		13	—		14	—		15	—		
		C	難 燃 物	01	ゴム類		02	難燃シート類		03	ホース類		04	難燃物その他		05	—		
				01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—		
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—		
				01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—		
		②	状 態		D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																			
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																			
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																			

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015302 - 0021

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0227
				2018/7/11
調整後保管日時		2018年7月26日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年7月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-67	
2				
3				
4				

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年7月26日		(木)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F 廃棄物減容・運搬業務委託								
	発生場所	GR-18(コンクリートポンプ車)								
	作業主管G	使用済燃料プール冷却グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/7/10	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICBL-73		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	不燃物	B	03	D	A	15 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物 ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/7/26 9:30	15 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6015302 - 0021

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年7月26日		(木)	10:30	承認	審査	作成												
	作業件名	1F 廃棄物減容・運搬業務委託																		
	発生場所	GR-18(コンクリートポンプ車)					2018/7/10	2018/7/10												
	作業主管G	使用済燃料プール冷却グループ			監理員	TEL														
	元請会社				担当者	TEL														
	線量測定年月日	2018/7/10	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICBL-73												
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率											
		①	②	③																
		1	不燃物	B						03	D	A	15	m ²	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無	
		2											m ²							
		3											m ²							
		4											m ²							
5						m ²														
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																				

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	07	—	0228	2018/7/11
調整後保管日時		2018年7月26日		10:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年7月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-67
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物 ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/7/26 9:40	12 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6015302 - 0021		
作 業 主 管 入 欄	保管希望日時	2018年7月26日		(木)	11:00		承認	審査	作成			
	作業件名	1F 廃棄物減容・運搬業務委託										
	発生場所	GR-18(コンクリートポンプ車)						2018/7/10	2018/7/10	2018/7/10		
	作業主管G	使用済燃料プール冷却グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/7/10		測定者			測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICBL-73	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	不燃物	B	03	D	A	15 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無		
	2						m ²					
	3						m ²					
4						m ²						
5						m ²						
メ モ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	07	—	0229	2018/7/11
調整後保管日時		2018年7月26日		11:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年7月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-67
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1		不燃物 ②	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/7/26 10:10	3	m ²			1
												m ²			
												m ²			
												m ²			
												m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015302 - 0021

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年7月27日		(金)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F 廃棄物減容・運搬業務委託								
	発生場所	GR-18(コンクリートポンプ車)								
	作業主管G	使用済燃料プール冷却グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/7/10	測定者			測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICBL-73
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	不燃物	B	03	D	A	15 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0231
				2018/7/11
調整後保管日時		2018年7月27日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年7月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-103	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2018/7/27 9:30	10 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015302 - 0021

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年7月27日		(金)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	1F 廃棄物減容・運搬業務委託								
	発生場所	GR-18(コンクリートポンプ車)								
	作業主管G	使用済燃料プール冷却グループ				監理員				
	元請会社					担当者				
	線量測定年月日	2018/7/10	測定者			測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICBL-73
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	不燃物	B	03	D	A	15 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0232
				2018/7/11
調整後保管日時		2018年7月27日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年7月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-103	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物 ②	5 μSv/h	30 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/7/27 9:40	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015302 - 0021

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年7月27日	(金)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F 廃棄物減容・運搬業務委託							
	発生場所	GR-18(コンクリートポンプ車)			2018/7/11	2018/7/10	2018/7/10		
	作業主管G	使用済燃料プール冷却グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/7/10	測定者		測定器名	電離箱	管理番号 F1-ICBL-73		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
1	不燃物	B	03	D	A	15 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
2						m ²			
3						m ²			
4						m ²			
5						m ²			
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0237
				2018/7/11
調整後保管日時		2018年7月27日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年7月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-103	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/7/27 10:05	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013205 - 0003

固体廃棄物管理G記入欄

受付

受 付 番 号

廃2018 - 07 - 0244

2018/7/11

調整後保管日時 2018年7月23日 10:00

【保管時の指示事項等】

線量測定内容

測定日 2018年7月23日

測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICWBL	F1-ICWBL-50
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年7月23日		(月)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事									
	発生場所	西門研修棟休憩所外部・事務本館									
	作業主管G	建築総合工事グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/7/10	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号			
							F1-ICWBL-6				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無			
		①	②	③				β + γ 線量率			
	1	可燃物その他(トンパック)	A	04	D	B	0.5 m ²	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
2	金属ガラ	B	01	D	A	2 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無		
3						m ²					
4						m ²					
5						m ²					
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他(トンパック)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/7/23 10:00	0.2 m ²			1
	2	1	金属ガラ ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/7/23 9:30	2 m ²			2
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012601 - 0033

固体廃棄物管理G記入欄

受付

受 付 番 号

廃2018 07 0245

2018/7/20

調整後保管日時 2018年7月23日 8:30

【保管時の指示事項等】

線量測定内容

測定日 2018年7月23日

測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-50
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年7月23日		(月)	8:30	承認	審査	作成			
	作業件名	旧CST炉注水設備他除却工事									
	発生場所	2号機 T/B1FL			2018/7/20	2018/7/20	2018/7/20				
	作業主管G	原子炉冷却グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/6/28	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-045、F1-ICWBL-70			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
	1	難燃物(ホース類)	C	03	D	B	4 m ²	0.005 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	0.01 mSv/h
	2	不燃物(金属類)	B	01	D	B	4 m ²	0.005 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	0.6 mSv/h
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
メモ	8m3コンテナ(エリアP2:旧ヤード)に保管予定。										

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃物(ホース類) ①	5 μSv/h	5 μSv/h	25 μSv/h	エリアP1(屋外)	2018/7/23 8:20	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年7月23日		(月)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	G1タンク盛土上					2018/7/11	2018/7/11	2018/7/11	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/7/10	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-70		
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	15 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
	4						m ³			
入欄メモ	5						m ³			
	10tダンプ(5m3分)×3台=15m3 コンクリートガラ搬出します。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0247
				2018/7/11
調整後保管日時		2018年7月23日		9:00
【保管時の指示事項等】				
当日の状況によって、受入れ台数を制限する場合があります。				

線量測定内容			
測定日	2018年7月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-50
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/7/23 8:25	5 m ³			1
	1	2	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/7/23 8:30	5 m ³			1
	1	3	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/7/23 8:35	5 m ³			1
									m ³			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		E	その他	01	その他	02	その他	03	その他	04	その他	05	その他
01	その他			02	その他	03	その他	04	その他	05	その他		
F	その他	01	その他	02	その他	03	その他	04	その他	05	その他		
		01	その他	02	その他	03	その他	04	その他	05	その他		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0022

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年7月24日		(火)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	処理水バフファタンク取替設工事								
	発生場所	処理水バフファタンクエリア内(GK-19)						2018/7/11	2018/7/11	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/7/10	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	F1-ICWBL-114		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	コンクリートガラ			① B 02 ② D ③ A	20 m ²	40 μSv/h	60 μSv/h	無		
2					m ²					
3					m ²					
4					m ²					
5					m ²					
メモ	10t車×4台									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0248
				2018/7/11
調整後保管日時		2018年7月24日		8:00
【保管時の指示事項等】				
当日の状況によって、受入れ台数を制限する場合があります。				

線量測定内容				
測定日	2018年7月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-101	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				①	②	③	④	⑤	⑥						
	1	1	コンクリートガラ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/7/24 8:10	4 m ²			1
	1	2	コンクリートガラ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/7/24 8:15	5 m ²			1
												m ²			
												m ²			
												m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
メモ															

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0022

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2018年7月24日	(火)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	処理水パツファタンク取替設工								
	発生場所	処理水パツファタンクエリア内(GK-19)			2018/7/11	2018/7/11	2018/7/11			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/7/10	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号 F1-ICWBL-114			
G 記 入 欄 メモ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	20 m ²	40 μSv/h	50 μSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5					m ²				
	10t車×4台									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0249
				2018/7/11
調整後保管日時		2018年7月24日		9:30
【保管時の指示事項等】				
当日の状況によって、受入れ台数を制限する場合があります。				

線量測定内容			
測定日	2018年7月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-101
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/7/24 9:05	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013205 - 0003

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年7月23日		(月)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事									
	発生場所	西門研修棟休憩所外部・事務本館					2018/7/11	2018/7/11	2018/7/11		
	作業主管G	建築総合工事グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/7/10	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-6			
No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β - α 汚染の有無	β + γ 線量率	
			①	②	③						
	1	機器類・制御盤類	B	03	D	A	2 m ²	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	無	
	2	保温材	B	06	D	A	2 m ²	7 μ Sv/h	7 μ Sv/h	無	
	3						m ²				
	4						m ²				
5						m ²					
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	07	—	0250
				2018/7/11
調整後保管日時		2018年7月23日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年7月23日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-50	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	機器類・制御盤類 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/7/23 9:15	0.5 m ²			1
	2	1	保温材 ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアPI(屋外)	2018/7/23 9:15	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β + γ 線量率欄に「 β + γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013205 - 0003

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年7月23日		(月)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事								
	発生場所	西門研修棟休憩所外部・事務本館					2018/7/11	2018/7/11	2018/7/11	
	作業主管G	建築総合工事グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/7/10	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-6		
	G No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	β + γ 線量率
		①	②	③						
1	ケーブル類	B	08	D	A	0.5 m ²	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	無	
2	不燃物その他(フィルタ・ガラス)	B	10	D	A	2 m ²	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	無	
3	難燃物その他(フレキダクト)	C	04	D	A	0.5 m ²	7 μ Sv/h	7 μ Sv/h	無	
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0251
				2018/7/11
調整後保管日時		2018年7月23日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年7月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-50
2		ICW	F1-ICW-15B
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ケーブル類 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/7/23 9:40	0.5 m ²			1
	2	1	不燃物その他(フィルタ・ガラス) ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/7/23 9:40	1 m ²			1
	3	1	難燃物その他(フレキダクト)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/7/23 10:30	0.2 m ²			2
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β + γ 線量率欄に「 β + γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β + γ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013704 - 0023
-------	----------------

作業主	保管希望日時	2018年7月24日				(火)		8:30				承認		審査		作成		
	作業件名	G6エリアタンクリプレイス関連工事																
主	発生場所	G6、H6北、B、タンクエリア										2018/7/11		2018/7/11		2018/7/11		
	作業主管G	貯留設備グループ						監理員						TEL				
管	元請会社							担当者						TEL				
	線量測定年月日	2018/7/9		測定者				測定器名		ICW(BL)				管理番号		FI-ICWBL-5		
G	No.	保管物名				※カテゴリ			物量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率	
		①		②		③												
記	1	金属ガラ		B	01	D	B	1	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	2	コンクリートガラ		B	02	D	B	0.1	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
入	3	防災シート		B	10	D	B	2	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	4								m ²									
欄	5								m ²									
	メ																	
モ																		

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	07	—	0252	
調整後保管日時		2018年7月24日			2018/7/12
【保管時の指示事項等】					8:30

線量測定内容			
測定日	2018年7月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-101
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1		金属ガラ⑦	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h		エリアC	2018/7/24 8:05	1	m ³			1
2	1		コンクリートガラ①	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h		エリアC	2018/7/24 8:05	0.1	m ³			1
3	1		防災シート②	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h		エリアPI(屋外)	2018/7/24 8:05	2	m ²			1
												m ³			
												m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—		
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—		
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0040

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年7月23日		(月)	9:00	承認	審査	作成	
	作業件名	タンク連結管他点検関連							
	発生場所	Dエリア					2018/7/12	2018/7/12	2018/7/12
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/7/10	測定者		測定器名	ICW	管理番号	ICW48-BL51	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
1	不燃物その他(PE管)	B	10	D	B	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2						m ²			
3						m ²			
4						m ²			
5						m ²			
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。一次保管エリアW									

受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0253
調整後保管日時				2018年7月23日 9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年7月23日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-50	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他(PE管)①	5 μ Sv/h	150 μ Sv/h	800 μ Sv/h	エリアPI(屋外)	2018/7/23 10:35	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
				11	—	12	—	13	—	14	—	15	—
E	その他	01	—	02	—	03	—	04	—	05	—		
		06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013107 - 0030

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年7月24日		(火)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	道路等維持管理工事(平成30年度)								
	発生場所	1F構内						2018/7/12	2018/7/12	
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/6/26	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-151	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	アスファルトガラ			① B 09 ② D ③ A	4 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
2					m ²					
3					m ²					
4					m ²					
5					m ²					
注:	α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0255
				2018/7/12
調整後保管日時		2018年7月24日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年7月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-012	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/7/24 8:00	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013107 - 0030

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年7月24日		(火)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	道路等維持管理工事(平成30年度)								
	発生場所	1F構内						2018/7/12	2018/7/12	
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/6/26	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-151	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	4 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0256
				2018/7/12
調整後保管日時		2018年7月24日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年7月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-012	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/7/24 8:55	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13	—	14	—
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
				02				05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013107 - 0030

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年7月24日		(火)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	道路等維持管理工事(平成30年度)								
	発生場所	1F構内						2018/7/12	2018/7/12	
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/6/26	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-151	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	4 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0257
				2018/7/12
調整後保管日時		2018年7月24日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年7月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-012
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/7/24 10:55	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013210 - 0001

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年7月24日		(火)	9:30		承認	審査	作成			
	作業件名	#1ガレキ撤去工事										
	発生場所	IBCC操作室・1号機北西ヤード						2018/7/12	2018/7/12			
	作業主管G	1号機建築グループ				監理員		TEL				
	元請会社					担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/7/6	測定者			測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICWBL-101			
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	東電殿所有 6m3コンテナ×1基			B	10	D	B	5.5 m ²	0.003 mSv/h	0.04 mSv/h	β有
2								m ²				
3								m ²				
4								m ²				
5								m ²				
※ 6m3コンテナ×1基 (ZK-01224) 内容物: 可燃物(木材類・垂直ネット類他) ※ 7/10: 6m3コンテナ表面線量率 γ=0.003 mSv/h β+γ=0.006 mSv/h												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	07	—	0258
				2018/7/12
調整後保管日時		2018年7月24日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年7月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-101	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	東電殿所有 6m3コンテナ×1基	5 μSv/h	12 μSv/h	12 μSv/h	エリアW1	2018/7/24 9:45	6 m ²		ZK-01224	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8012319 - 0001

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年7月24日		(火)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	化学分析及び放射能測定業務								
	発生場所	5, 6号機 ホットラボ(GJ-14)						2018/7/12	2018/7/12	
	作業主管G	分析評価グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/7/10	測定者		測定器名	β・γ電離箱		管理番号	F1-ICWBL-122	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
		①	②	③						
1	不燃物その他(薬品ビン)	B	10	D	A	0.4 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2	不燃物その他(ステンレス皿)	B	10	D	A	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3	不燃物その他(トナー)	B	10	D	A	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4	不燃物その他(アルミ箔)	B	10	D	A	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
5	難燃物ゴム類	C	01	D	A	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0259
				2018/7/12
調整後保管日時		2018年7月24日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年7月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-101
2		ICW	F1-ICW-158
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他(薬品ビン) ⑦	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/7/24 10:35	0.4 m ²			1
	2	1	不燃物その他(ステンレス皿) ⑦	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/7/24 10:35	0.2 m ²			1
	3	1	不燃物その他(トナー) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2018/7/24 10:35	0.2 m ²			1
	4	1	不燃物その他(アルミ箔) ⑦	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/7/24 10:35	0.2 m ²			1
	5	1	難燃物ゴム類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/7/24 11:00	0.4 m ²			2
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013707 - 0195		固体廃棄物管理G記入欄				受付								
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年7月24日				(火)		9:00		承認		審査		作成		受 付 番 号							
	作業 件 名		Bエリアリルト										2018/7/12				2018/7/12		2018/7/12		2018/7/13			
	発生 場所		Bエリア近傍										2018/7/12		2018/7/12		2018/7/12		調整後保管日時 2018年7月24日 9:00					
	作業 主管 G		処理設備グループ						監 理 員		TEL				【保管時の指示事項等】									
	元 請 会 社								担 当 者		TEL													
	線量測定年月日		2018/7/11		測定者				測定器名		ICWBL		管理番号		F1-ICWBL-5									
	No.		保管物名				※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β+γ 線量率							
	1		難燃物その他				C 04 W A		3 m ²		0.01 mSv/h		0.1 mSv/h		β有		0.5 mSv/h							
	2								m ²															
	3								m ²															
4								m ²																
5								m ²																
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																								
保管実績記入欄																								
No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.		
1		1		難燃物その他		5 μSv/h		10 μSv/h		60 μSv/h		エリアW1		2018/7/24 8:45		3 m ²						1		
																m ²								
																m ²								
																m ²								
																m ²								
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																								
メ モ 上記の保管物は6m3コンテナ1基に収納。																								
※カ テ ゴ リ		①		A 可燃物		01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05		—								
						06 —		07 —		08 —		09 —		10 —										
				B 不燃物		01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類										
						06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他										
						11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —										
				C 難燃物		01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —										
						01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —										
				D 伐採木		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —										
						01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —										
				②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履歴												
A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																								
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																								
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																								
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0195

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年7月24日		(火)	8:30		承認	審査	作成		
	作業件名	Bエリアリート									
	発生場所	C2エリア近傍									
	作業主管G	処理設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/6/21	測定者			測定器名	F1-ICWBL-5	管理番号	F1-ICWBL-5		
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	紙・ウエス類	A	01	W	A	0.2 m ²	0.005 mSv/h	0.02 mSv/h	β有	0.03 mSv/h
	2	プラスチック・ポリ・ビニール	A	02	W	A	0.2 m ²	0.005 mSv/h	0.02 mSv/h	β有	0.03 mSv/h
3	難燃物その他	C	04	D	A	3 m ²	0.005 mSv/h	0.03 mSv/h	β有	0.2 mSv/h	
4	不燃物その他	B	10	W	A	0.2 m ²	0.005 mSv/h	0.02 mSv/h	β有	0.03 mSv/h	
5						m ²					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0263
				2018/7/13
調整後保管日時		2018年7月24日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年7月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-101	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	5 μSv/h	5 μSv/h	20 μSv/h	エリアW1	2018/7/24 8:20	0.2 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール	5 μSv/h	5 μSv/h	20 μSv/h	エリアW1	2018/7/24 8:20	0.2 m ²			1
	3	1	難燃物その他	5 μSv/h	5 μSv/h	50 μSv/h	エリアW1	2018/7/24 8:20	3 m ²			1
	4	1	不燃物その他	5 μSv/h	5 μSv/h	20 μSv/h	エリアW1	2018/7/24 8:20	0.2 m ²			1
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記の保管物は6m3コンテナ1基に収納。

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012903 - 0061

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年7月24日	(火)	10:00	承認	審査	作成	
	作業件名	屋外仮設変圧器盤単独除却						
	発生場所	プロセス建屋内・屋外、4号機屋外、共用プール屋外			2018/7/13	2018/7/13	2018/7/13	
	作業主管G	所内電源グループ	監理員		TEL			
	元請会社		担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/7/13	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	
			①	②	③		表面線量率	
	1	ケーブル類	B	08	D	A	2 m ²	0.01 mSv/h
	2	難燃物その他	C	04	D	A	5 m ²	0.01 mSv/h
	3						m ²	
	4						m ²	
	5						m ²	
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0264
				2018/7/13
調整後保管日時		2018年7月24日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年7月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-012
2		ICWBL	F1-ICWBL-127
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ケーブル類⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/7/24 9:55	2 m ²			1
	2	1	難燃物その他 (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/7/24 10:00	5 m ²			2
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	②	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013704 - 0023

作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年7月26日		(木)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	G6エリアタンクリプレイス関連工事								
	発生場所	G6、H6北、B、タンクエリア					2018/7/13	2018/7/13	2018/7/13	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/7/11	測定者		測定器名	ICW(BL)	管理番号	F1-ICWBL-5		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	金属ガラ	B	01	D	B	5 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	07	—	0265
				2018/7/13
調整後保管日時		2018年7月26日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年7月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-67	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/7/26 8:05	3 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0027

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0267
				2018/7/17
調整後保管日時		2018年7月26日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年7月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年7月26日		(木)	9:00	承認	審査	作成
	作業件名	1~4号機 サブドレン他浄化設備pH緩衝塔設置及び同関連除却						
	発生場所	サブドレンサンプルタンクエリア						
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員	TEL		
	元請会社				担当者	TEL		
	線量測定年月日	2018/7/13	測定者		測定器名	ICW(B)		管理番号 F1-ICWBL-128
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率
	1	紙・ウエス類	A 01	D B	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	可燃その他	A 04	D B	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
3	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D B	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4				m ²				
5				m ²				
メ モ	物量については固体廃棄物管理G殿相談済み 企業殿持込み							

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/7/26 8:30	1.6 m ²			1
	2	1	可燃その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/7/26 8:30	1 m ²			1
	3	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/7/26 8:30	2.1 m ²			1
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013705 - 0027			
作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年7月26日		(木)	9:00		承認	審査	作成				
	作業件名	1～4号機 サブドレン他浄化設備pH緩衝塔設置及び同関連除却											
	発生場所	サブドレンサンプリングタンクエリア						2018/7/13	2018/7/13	2018/7/13			
	作業主管G	地下水対策グループ				監理員	TEL						
	元請会社					担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/7/13	測定者			測定器名	ICW(B)		管理番号	F1-ICWBL-128			
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率			
	1	金属ガラ		B	01	D	B	4 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	2	不燃物その他(PE管・継手類)		B	10	D	B	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	3	不燃物その他		B	10	D	B	6 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
4							m ²						
5							m ²						
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。												

線量測定内容									
測定日	2018年7月26日								
測定No.	氏名	測定器	管理番号						
1		ICWBL	F1-ICWBL-67						
2									
3									
4									

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h			m ²	m ²			
1	1	1	金属ガラ⑩	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/7/26 8:45	4	m ²			1
2	1	1	不燃物その他(PE管・継手類)②	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアP1(屋外)	2018/7/26 8:45	3	m ²			1
3	1	1	不燃物その他②	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアP1(屋外)	2018/7/26 8:45	6	m ²			1
												m ²				
												m ²				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05	
				06		07		08		09		10	
				01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類	
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13		14		15	
②	B	不燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05		
			01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05		
③	C	難燃物	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05		
			01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05		
④	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05		
			01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05		
②			状 態	D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013707 - 0194		
作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年7月25日		(水)	9:00		承認	審査	作成			
	作業件名	モバイル配管除却										
	発生場所	Bエリア近傍						2018/7/17	2018/7/17	2018/7/17		
	作業主管G	処理設備グループ				監理員		TEL				
	元請会社					担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/7/11		測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-5		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	金属ガラ			B 01 W A	1 m ³	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無			
	2	コンクリートガラ			B 02 W A	0.2 m ³	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無			
	3	保温材			B 06 W A	1.5 m ³	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無			
	4	不燃物その他			B 10 W A	1 m ³	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無			
	5	プラスチック・ポリ・ビニール類			A 02 W A	0.01 m ³	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無			
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	07	—	0269	2018/7/17
調整後保管日時		2018年7月25日		9:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年7月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICWBL	F1-ICWBL-127
3		ICWBL	F1-ICWBL-58
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑦	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/7/25 8:45	1 m ³			3
	2	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/7/25 8:45	0.1 m ³			3
	3	1	保温材②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/7/25 8:45	1.5 m ³			3
	4	1	不燃物その他②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/7/25 8:45	1 m ³			3
	5	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/7/25 9:30	0.1 m ³			1

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③								
	6	難燃シート	C	02	W	A	1.5	m ²	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無
	7	難燃物その他	C	04	W	A	1	m ²	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無
	8							m ²					
	9							m ²					
	10							m ²					

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	07	—	0269

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	6	1	難燃シート	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/7/25 9:30	0.2	m ²			1
	7	1	難燃物その他	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/7/25 9:30	0.4	m ²			2
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B 不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
		06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
	C 難燃物	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	
		01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
	D 伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
		② 状 態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013210 - 0001

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年7月25日		(水)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	#1ガレキ撤去工事								
	発生場所	旧CC操作室・1号機北西ヤード								
	作業主管G	1号機建築グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/7/12	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICWBL-92		
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	6m3コンテナ内容物:不燃物その他	B	10	D	B	5.5 m ³	0.003 mSv/h	0.8 mSv/h	β有 1 mSv/h
	2						m ³			
	3						m ³			
	4						m ³			
メ モ	※ 6m3コンテナ×1基 (ZK-01181) 内容物: 不燃物 (防災シート類他)									
	※ 7/12: 6m3コンテナ表面線量率 γ=0.6 mSv/h β+γ=0.6 mSv/h									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0270
				2018/7/17
調整後保管日時		2018年7月25日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年7月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-58	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ内容物:不燃物その他	5 μSv/h	800 μSv/h	800 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/7/25 9:20	6 m ³		ZK-01181	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013803	-	0016
-------	---------	---	------

作業主 管 G	保管希望日時	2018年7月25日				(水)	8:30				承認	審査		作成		
	作業件名	G6エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事														
	発生場所	G6エリア										2018/7/17	2018/7/17		2018/7/17	
	作業主管G	貯留設備土木グループ					監理員			TEL						
	元請会社						担当者			TEL						
G 記 入 欄 メ モ	線量測定年月日	2018/7/12		測定者				測定器名		ICWBL		管理番号		T-ICWBL-04		
	No.	保管物名				※カテゴリ		物量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		
		①		②		③								$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	金属ゴミ		B	01	D	B	1	m ²	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	無		
	2	配管類		C	04	D	B	2	m ²	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	無		
	3	アスファルトガラ		B	09	D	B	2	m ²	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	無		
4								m ²								
5								m ²								
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				2018/7/17
廃2018	—	07	— 0271	
調整後保管日時		2018年7月25日		
【保管時の指示事項等】				8:30

線量測定内容			
測定日	2018年7月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-127
2		ICWBL	F1-ICWBL-58
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ゴミ ㉚	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/7/25 8:25	0.5	m ³			2
	2	1	配管類 (→H)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/7/25 8:30	0.5	m ³			1
	3	1	アスファルトガラ ㉛	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/7/25 8:25	1	m ³			2
													m ³			
													m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニル類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013112 - 0002		
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年7月25日		(水)	10:30		承認	審査	作成			
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事										
	発生場所	G1タンク盛土上						2018/7/17	2018/7/17	2018/7/17		
	作業主管 G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/7/13		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	F1-ICWBL-70	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	コンクリートガラ			B	02	D	B	15 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2								m ³			
	3								m ³			
4								m ³				
5								m ³				
メ モ	10tダンプ(5m3分)×3台=15m3 コンクリートガラ搬出します。											

線量測定内容									
測定日	2018年7月25日								
測定No.	氏名	測定器	管理番号						
1		ICWBL	F1-ICWBL-58						
2									
3									
4									

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h						
	1	1	コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/7/25 10:00	5 m ³			1
	1	2	コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/7/25 10:05	5 m ³			1
	1	3	コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/7/25 10:10	5 m ³			1
												m ³			
												m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0016

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	07	—	0273
				2018/7/17
調整後保管日時		2018年7月26日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年7月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年7月26日		(木)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	G6エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	G6エリア									
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/7/12	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
			①	②	③						
	1	紙・ダンボール・ウェス	A	01	D	B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリエステル	A	02	D	B	2 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
3	木材	A	03	D	B	2 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
4						m ²					
5						m ²					

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。
企業殿持込希望

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ダンボール・ウェス	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/7/26 8:00	0.05 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリエステル	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/7/26 8:00	0.2 m ²			1
	3	1	木材	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/7/26 8:00	2 m ²			1
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。